

令和2年度大学等奨学生採用決定候補者決定通知について

「令和2年度大学等奨学生採用決定候補者決定通知」（以下、「決定通知」と記載。）は、【進学先提出用】と【本人保管用】があります。

【進学先提出用】は、裏面の学籍番号・学部学科・氏名・進学後の連絡先を記入してから、各受付窓口に提出してください。進学届を提出するために必要な書類をお渡しします。

【本人保管用】には「進学届」の提出に必要な「パスワード」が記載されていますので、進学届を提出の際、入力してください。また、「進学届」を提出するまで大切に保管してください。

「決定通知」を紛失した際は、各受付窓口までお問い合わせください。

1. 決定通知の記載内容【進学先提出用 裏面】

※【進学先提出用】の「表面」について、【本人保管用】には記載されている「奨学金振込口座」及び「進学届提出用パスワード」が記載されていない以外、記載内容は変わりません。

【進学後記入欄】

学籍番号	20D00xx△△△A		
学部・学科	理工学部 0000学科		
(フリガナ)	フウウウ 90ウ		
氏名	中央 太郎		
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒112-8551 東京都文京区春日1-13-27	
	電話番号	03 - 3817 - 1716	携帯番号 090 - 0000 - △△△△

必要事項を全て記入してください。

「進学後の連絡先」の「住所」については、自宅から通学している方は自宅の住所を、自宅外から通学している方は下宿先の住所を記入してください。

「電話番号」については、ご自身の携帯番号を記入してください。もし携帯の電話番号をお持ちでなければ、ご実家の電話番号を記入してください。

本人名義の口座になっているか、必ず確認をしてください。

【給付奨学金採用者のみ】

いずれか1つの口にチェックをしてください。

※自宅外通学者については、自宅外である（下宿先から通学している）ことを証明するために下記書類のどちらかとも準備してください。

- ① アパートの賃貸借契約書
- ② 入寮許可証

【入学時特別増額貸与奨学金利用者のみ】

入学時特別増額貸与奨学金利用者で「日本政策金融公庫の『国の教育ローン』の申込必要」と印字がある方は、該当する口にチェックをしてください。

【人的保証選択者のみ】

人的保証を選択している方は、当資料表面「5. 進学届（インターネット入力）の提出について」の（2）人的保証の場合の入力上の注意点【貸与奨学金の採用候補者】をご確認のうえ、チェックをしてください。

【該当者のみ】

該当者のみチェックをしてください。

1. 奨学金振込口座について（全員次の口にチェック）

- 採用候補者本人名義の普通預金（通常貯金）口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について（給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック）

- 進学届にて「自宅通学」を選択します（入学月において自宅通学となるため）。
- 進学届にて「自宅外通学」を選択します（入学月において自宅外通学となるため）。
については、入学月において自宅外通学であることの証明書類を添えて本紙を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

（入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の『国の教育ローン』の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック）

- 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。
については、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。
- ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」（本通知に同封の様式）
 - ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー
（圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。）
- 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します（必要書類が調えられなかった場合を含む）。

(2) 保証制度（「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック）

- 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
- 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します（条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む）。

2. 決定通知の記載内容【本人保管用】

①登録番号

奨学生として採用されるまでの間、あなたを特定するための番号です。

②氏名

氏名が正しいことを確認してください。

特に「カナ」が違っていると奨学金の振込みができません。
※ 小文字は、すべて大文字で表記されていますが、訂正の必要はありません。

例) ショウガク ⇒ シヨウガク

③選考結果

奨学金の種類ごとに各要件の該当状況を「○・×」で記載し、それを踏まえた選考結果（「採用候補者」に決定したか、候補者とならず「不採用」であったか）も記載しています。

④候補者となった奨学金の内容

- 採用候補者として決定した奨学金の内容です。
- 給付奨学金の「支援区分」は毎年度見直されます。（11ページ）

⑤進学届提出用パスワード

パスワードは、「進学届」の提出（10ページ）に必要です。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和2年度大学等奨学生採用候補者決定通知 【本人保管用】

令和元年12月●日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
	出席番号	A000001	
氏名	奨学 太郎 様 (シヨウガク 太郎)		

独立行政法人
日本学生支援機構



(印影印刷)

本機構は、あなたを下記のとおり令和2年度大学等奨学生採用候補者に決定しました。
ついては、あなたが令和2年度に本機構奨学金対象の学校に進学（高等専門学校3年次生の場合は本機構奨学金対象の高等専門学校4年次に進級又は本機構奨学金対象の学校に進学。以下同じ。）し、学校の定める期限までに所定の手続きを完了したときに限り、奨学生として採用し、奨学金の振込みを開始します。

記

1. 選考結果について

要件確認等の内訳	給付奨学金	貸与奨学金		
		借付貸与	第一種奨学金	第二種奨学金
国籍・在留資格等	○	○	○	—
家計に関する基準	○	×	○	—
学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	○	—
高卒後の期間・高卒認定合格(見込)	○	○	○	—
必要書類の提出	○	○	○	—
上記を踏まえた選考結果	候補者決定	不採用	候補者決定	—

注1 「国籍・在留資格等」の「○」は、在留資格「長期滞在」かつ「在留期間」が「必要書類提出時の提出日より所定の在留期間」に達していることを示します。
注2 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、「奨学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は国籍・在留資格に関する証明書（該当者のみ）等です。

2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金	第一種奨学金 (無利子)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
	支援区分：第1区分◆ 社会的養護を必要とする人	—	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象	—
申込時の 選択内容	貸与額 ***** 返還方式 ***** 保証制度 ***** 租税の優待 *****	最高月額以外の月額 — 所得連動返還方式 — 機関保証 — *****	— — — —	一時金500,000円 — 定額返還方式 — 人的保証 — 利率見直し方式 —

注1 給付奨学金の月額「利用条件」欄に記載の「支援区分」、進学の学校の学校種別、設置者（国公立）及び進学形態（自宅進学・自宅外進学）により定まります。また、給付奨学金の支援区分に「◆」印がある人で生活保護受給者の自宅から進学する場合、又は、児童養護施設等から進学する場合の給付奨学金の月額は、月額表（裏面3.参照）に記載の（ ）内の金額となります。なお、支援区分は、家計の状況により毎年度10月に見直されます。
注2 貸与奨学金に係る「申込時の選択内容」に記載の内容は、「進学届」の提出時に改めて選択直すことができます（「進学届」の提出により内容が確定し、その後は変更できない等の制限が発生することがあります）。詳細は、「採用候補者のしおり」を確認してください。
注3 第一種奨学金の貸与月額は、進学の学校の学校種別、設置者（国公立）及び進学形態（自宅進学・自宅外進学）により定まる金額（裏面4.参照）の中から「進学届」にて選択します。ただし、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最高月額利用：不可」と印字されている場合、「最高月額」は利用できません（「最高月額以外の月額」からの選択となります）。また、給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

進学届提出用パスワード（半角英数字10桁） ABCDE98765

注1 「進学届提出用パスワード」は、「進学届」の提出（10ページ）の際に提出用パスワード欄に記入する必要がありますので、本通知を大切に保管し、紛失に気を付けてください（紛失した場合は、奨学金の振込開始が大遅に遅れます）。

今後の必要手続等については、裏面の「重要事項」にて確認してください。